

日本代協 ニュース

INDEPENDENT INSURANCE

AGENTS OF JAPAN INC.

発行者 (社)日本損害保険代理業協会 会長 岡部繁樹 東京都千代田区有楽町 1-12-1-321 TEL 03(3201)2745 FAX 03(3201)4639
日本代協ホームページ (URL) <http://www.nihondaikyo.or.jp>

「損害保険大学課程の創設」などを審議 ～平成 23 年度 第 5 回理事会～

10 月 14 日(金)に本年度第 5 回理事会が開催され、下記事項が報告・審議されました。概要は次のとおり。

- ・平成 23 年度「代協正会員増強運動」9 月末状況報告
本年度・上期は昨年に比べマイナス幅が減少したとは云え、133 店減と減少傾向が続いていることが報告され、目標達成に向けさらなる会員増強の取組強化が要請されました。
- ・第 14 期保険大学校 開講時受講者数の確定報告
受講申込者の開講時の最終確定数が、その後、申込取消等により 43 名減の 1,051 名となり、第 1 期からの累計受講者数は 12,960 名となった旨の報告がありました。
- ・平成 23 年度 認定保険代理士の資格取得状況の報告
第 12 期受講者の新規取得が 865 名、第 3・6・9 期の更新が 1,852 名となったことが、報告されました。
- ・「代理店賠償 新日本代協プラン」募集結果の報告
本年度の更改は、やゝ頭打ち傾向が見られ、加入件数が減、保険料は微増となったことが報告されました。
(被保険者数) 8,833 件(継続 8,577 件・新規 256 件)
(継続率) 97.8%(更改対象 8,938 件、1.8%)
(加入率) 77.8%(36 件、±0.0%)
(保険料) 159,796 千円(+2,022 千円)
- ・国民年金基金 平成 22 年度決算等の報告
「平成 23 年度第 48 回代議員会決議事項」「平成 22 年度事業報告・決算の概要」「年金経理・業務経理の現状概要、今後の見通し」につき報告がありました。
- ・平成 23 年度コンベンションについての報告
11 月 18～19 日開催予定の第 1 回コンベンションの準備状況、参加者数等が報告されました。
- ・その他、審議事項
「損害保険大学課程の創設」「平成 23 年度事業計画推進」「損保協会との連携(洪水・地震等のハザードマップ)」「東日本大震災プロジェクトチーム(リーダー：諏訪副会長)の編成」などについて審議・意見交換が行われました。

平成 23 年度「活力ある・研究会」の開催 ～テーマ:代理店の経営拡大に資する論議～

本年度 12 月 1 日(木)の第 1 回目は“代理店の経営拡大(仮題)”をテーマに開催されますが、その観点から、(株)ブレインマークス・安東邦彦社長から「損保代理店の営業モデルの転換」についての提言を頂き、その後に論議を行うことになっています。

岡部会長、日本保険学会 大会・総会に出席 ～10 月 22～23 日・神戸学院大学で開催～

日本保険学会(理事長:江澤雅彦・早稲田大学商学大学院教授)の今年度大会・総会が 10 月 22 日(土) 23 日(日)の 2 日間にわたり、神戸学院大学ポートアイランド・キャンパスで開催され、今年度より会員となった日本代協からは、岡部会長に出席頂き、有識者との親交を深めて頂きました。

青森県代協「創立 50 周年記念講演」を開催 ～JAXA はやぶさプロジェクト 川口淳一郎教授 講演～

青森県代協は 10 月 15 日(土)、青森市民ホールで同協会「創立 50 周年記念講演」として、青森県出身の JAXA はやぶさプロジェクトマネージャー・川口淳一郎教授が「科学するところ」と「チャレンジとは何か」との演題で特別講演を開催いたしました。

当日は、「はやぶさ」の映画が各地で上映されていることもあり、地元での関心も高く、三村青森県知事を始め総勢 466 名の参加者があり、大いに盛り上がりました。

北陸 3 県代協が一斉に海岸清掃奉仕を実施 ～9 月 10 日(土)に富山県・石川県・福井県で～

北陸 3 県の代協では、“初秋の海岸クリーンアップ活動”として、富山県八重津浜海浜公園・石川県珠洲市馬線海岸・福井県三国サンセットビーチで 106 名の会員の参加を得て、9 月 10 日(土)一斉に海岸清掃の奉仕活動を実施いたしました。

損保業界に対する信頼度、年々評価アップ ～ 損保協会、「消費者の意識調査」の結果を公表～

損保協会は「損害保険業に対する消費者意識調査」09～11年の3年間の比較の結果を公表いたしました。

損保に対する信頼度が増しているとの結果に、「昨年に引き続き損保業界に対して一定の理解が得られている」と判断、この結果を踏まえ「より一層消費者から信頼される業界となる様、今後も業務品質・サービス向上に向けた取組みを継続して一層の品質向上を図る」とのことです。

損保への信頼感では、「信頼できる」「ある程度信頼できる」の回答割合は78.4%と毎年信頼度は増えています。

「契約内容の確認手続き」に対する印象は「必要である」「ある程度必要である」の回答割合は85.0%にアップ、契約時の満足度では「満足している」「ある程度満足している」の回答割合は89.1%と、この数年は90%前後に、さらに、業務品質やサービス向上に向けた取組みの評価では「評価できる」「ある程度評価できる」の回答割合は66.9%に大きくアップしています。

損保協会・協会長ほかと懇談会を開催 ～ 隔 協会長以下8名と正・副会長以下8名で～

10月14日(金)に、損保協会・隔協会長(東京海上日動社・社長)、一般委員長以下8名の主要役員と日本代協・岡部会長、副会長以下8名で情報交換を兼ね、懇談会を実施いたしました。

東日本大震災における「絆と信頼」を礎に、使命感をもって顧客救済に奔走した代理店の活躍、損保協会との「損害保険大学課程の創設」に向けた共同取組み等に関して意見交換が行われました。

全国一斉「国民年金基金加入推進C/P」 ～ 11月1日から11月30日、目標101名～

「全国損害保険代理業国民年金基金」推進を図るため、新規加入者の増強キャンペーンを期間限定で、下記の要領で取組むことが理事会で決議され、全国一斉に展開することになりました。

キャンペーン期間

平成23年11月1日～11月30日の1ヶ月間
(10月末日までは加入推進の準備期間)

カウント方法

国民年金基金事務局で受付けた「新規加入申出書」をカウントします。

国民年金基金の対象者

損害保険代理業に従事する国民年金第1号被保険者
(店主のほか家族、従業員、委任型募集人も対象)

代協会員以外の方も加入できます。

表彰について

新規加入を受付け、成立後も掛金の払込がなされた件数に応じ、平成24年3月全国会長会議にて目標達成代協を表彰します。

必達目標数

【北海道(4)】北海道(4) 【北東北(6)】青森(2)岩手(2)秋田(2) 【南東北(5)】宮城(1)やまがた(2)福島(2) 【上信越(5)】新潟(2)長野(2)群馬(1) 【東関東(8)】栃木(2)茨城(1)埼玉(3)千葉(2) 【南関東(5)】神奈川(3)山梨(2) 【東京(5)】東京(5) 【東海(8)】静岡(1)愛知(4)岐阜(1)三重(2) 【北陸(5)】富山(1)石川(2)福井(2) 【近畿(6)】滋賀(2)京都(2)奈良(2) 【阪神(7)】大阪(5)兵庫(1)和歌山(1) 【東中国(7)】岡山(3)鳥取(2)島根(2) 【西中国(4)】広島(2)山口(2) 【四国(8)】徳島(2)香川(2)愛媛(2)高知(2) 【九州北(10)】福岡(4)大分(2)佐賀(2)長崎(2) 【九州南(8)】宮崎(2)熊本(2)鹿児島(2)沖縄(2)

の全国合計101名

第1回 日本代協コンパニョンの開催について ～ 全国の代協会員が集い、語らう場として～

従来の総会・代協会員懇談会に代わり「全国の代協会員が集い語らう場」として、業界関係者を含めた情報交換と経験交流を目的に、『代理店の価値を考える』をテーマとして開催いたします。

- (1) 第1部：式典・代協会員懇談会 (開場：11時30分)
【11月18日(金)12時30分～17時 於：ヤクルトホール】
記念式典(会長挨拶、来賓挨拶、功労者表彰等)
代協会員懇談会
パネルディスカッション(被災地代協会員)
～ 大震災を教訓として代理店の価値を考える～
- (2) 第2部：懇親会 (開場：17時15分)
【11月18日(金)18時～20時 於：第一ホテル東京】
- (3) 第3部：分科会 (開場：9時30分)
【11月19日(土)10時～15時 於：損保会館・会議室】
基調講演(損保協会・栗山泰史 常務理事)
「損保代理業の明日を考える」
～ 代理店の存在価値はどこにあるのか～
テーマ別分科会(4テーマ)
事前登録制によるテーマ別分科会(1名1登録)